

# こうとう民報

2017年 7月号 152

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 こうとう民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155 FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

# 力を合わせれば、政治は必ず変えられる



写真は、新都議19人が勢ぞろい。前列右から2人目があぜ上三和子都議。

7月2日投票でたたかわれた都議会議員選挙は、歴史的な自民党の大敗とともに、日本共産党が2議席増19議席を獲得する躍進をし、江東区では、あぜ上三和子都議の三選を果たすことができました。あぜ上都議に選挙戦をたたかった思いを寄稿していただきました。

## 汗と涙の奮闘記

### 日本共産党都議会議員 あぜ上三和子

都議選の結果を受け、多くの方から「当選の2文字に泣いた」「こんなに開票をドキドキしながら見たとはなかった。当選がわかり号泣した」「この声をいただきました。誠にありがとうございました。守り抜いた議席は、もちろん私だけのものではありません。みなさんのものです。みなさんに願いを託していただいたことを誇りに、これからも一緒に、政治を変えてゆく決意です。

私は選挙中「力を合わせれば、政治は必ず変えられます」と、繰り返し訴えてまいりました。道路幅は車道を50cm広げて5.5mに、歩道は50cm広げて2mにする必要があると、繰り返し訴えてまいりました。



砂町銀座入口で、女性後援会のみなさん

街頭で演説をしていると、怖い顔をした男性が近づき、怒られるのかと思うと、「安倍を倒せ」と言っていく、こんな経験は何度もしました。また「あなたは豊田議員とは正反対のタイプですね」とも言われました。結果は、「ご存知のように自民党は57人から23人と激減。憲法を壊し、政治を私物化する安倍自公政権に対する厳しい審判が下されました。



青年のみなさんも、応援に！

同時に、この間の野党共闘の広がりや土台に、他党や他党派からの応援、勝手連や市

民との共同の取り組みが、かつてなくひろがり、大きな力となった選挙だったということも実感しました。



門前仲町でアピール・ママの会

さらに、最終日に、部活帰りの中学生が20人ぐらいて「みわこ、頑張れ！」と声援をくれて、私は感極まって声が出なくなるとい一幕もありました。

これまで小中学校のトイレの洋式化や、子ども医療費無料化の実現、五輪会場計画の見直しで少年野球場の存続など、みなさんの運動と議会論戦で実現させてきたことを子ども達も理解してくれているのかと思いました。

これからも私は、公約の実現に向けて「さすが、躍進した共産党」といわれるような活動をみなさんと力を合わせて頑張りたいと思います。

### 訂正

先月号の潮騒で「大阪維新の橋本氏」は、「大阪維新の橋下氏」の変換ミスでした。お詫ひし訂正します。

区が打ち出した仙台堀川公園改修計画で公園幅の大幅減少や高木の大量伐採を招く原因は、公園両側道路の道路（車道、歩道とも）の拡幅と無電柱化をセットで進めることにあります。



区は、無電柱化のために新たに配電用のボックスを地上に設置するスペースと合わせ幅1メートルの植栽帯を設ける。また現在の水路を埋めて自転車通行帯にする計画は、自

## 仙台堀川公園改修 過大な道路拡幅中止を

また無電柱化による配電用のボックスを歩道上ではなく、沿道のマンションや都営住宅、区民農園などの敷地の中に設置し、電線のみ歩道下のビツ

区は周辺住民や環境団体の皆さんの声を傾け、将来の世代にも恥ずかしくないよう改修の在り方を見直すべきです。

このままでも法令上の問題はありませんが、歩道を2mに広げるには堤防部分（幅約50cm）を切り取って、これを歩道に充てれば間に合います。

### 梅雨明け前から記録的な連日の猛暑日が続きました。熱中症が心配です。激戦の都議選は、予想をこえる自民党の歴史的

敗という結果、「THIS is A 敗因」などいわれ、安倍一強の終わりの始まりでしょうか。内閣支持率の急落は止まりません。埋没が懸念された日本共産党は、14選挙区で自民現職に競り勝った奮闘で、2議席増の連続躍進を果たし、都政の闇に迫った都議団の役割と値打ちが実証されました。今年の七夕は、人類の未来にとって記念すべき日となりました。広島・長崎から72年、被ばく者の悲痛な訴えと運動に応え、国連の「凍結した小国」らが、核兵器禁止条約を122カ国の賛成で採択。初めて核兵器に「悪の烙印」を押しました。唯一の被爆国の政府は不参加でしたが、志位委員長を団長とする党代表団の貢献は歴史に記録されることでしょう。11日には、国連の人権を守る関係者からも危惧されていた悪法「共謀罪」法が施行されました。しかし、違憲法律を無効とする98条があります。15日には、戦前の治安維持法下で多くの犠牲者を出しながら不屈に反戦を貫き、人権を守って活動してきた日本共産党が、憲法9条の空文化を狙う「アベ政治を許さない」野党共闘の要となつて、創立95周年を迎えました。



# 工場の移転と団地の形成

概説

## 江東の歴史 (70)



南砂2丁目団地

江東区の風物が様変わりしたのは、1959(昭和34)年の工業等の制限法と、72(昭和47)年の過度に工業が集積している地域から、工場を移転させる「工業再配置促進法」が成立した結果です。

1957(昭和32)年当時の従業員千人以上の大工場は次の8工場です。

- 〈亀戸〉 日立製作所、第二精工舎
- 〈大島〉 三菱鋼材
- 〈南砂〉 東都製鋼、自動車社
- 〈木場〉 藤倉電線
- 〈豊洲〉 石川島第二、第三工場

この他、大島に高砂鉄工、日曹製鋼、日本製鋼、日東化学、北砂に東芝、東砂に桜田機械などの工場がありました。

これらの工場はすべて移転して、その跡地に公園、住宅団地、スーパーなどが建てられて、江東区の風景は一変しました。

江東区の大きな住宅団地は次のものです。( )内は工場の跡地です。

- 亀戸2丁目団地 (1426戸、日清紡績)
- 大島4丁目団地 (2514戸、日曹製鋼)
- 大島6丁目団地 (3170戸、三菱鋼材)
- 北砂5丁目団地 (2800戸、東芝)
- 南砂2丁目団地 (3839戸、自動車社)

これらの団地以外に、南部の広大な埋立地に辰巳団地(3326戸)など多くの団地、マンションが建設されました。東陽町や木場の地下鉄駅周辺には、ビジネスホテルもつくられています。

江東区の風景を変化させた原因としては、工業再配置促進法とともに、地下鉄の開通があげられます。営団東西線と都営新宿線の開通によって、江東区と都心部との交通が便利になりました。こうして、かつての江東工業地帯は今や都心部のためのベッドタウンに変貌しつつあります。

**★ 行事日程 ★**

- 7月30日(日) 14時
- ◆「仙川公園を考える」報告会  
(砂町文化センター2F第1会議室)
- 8月20日(日) 14時・19時
- ◆「日本と再生」上映会  
(カメリアホール)
- 8月26日(土) 15時・18時
- ◆朗読劇「東京大空襲」  
(カメリアホール)

入場料：一般2000円

# 道徳が教科になる！学習指導要領が変わる！

## どうなる学校・子どもたち?? 学習会



講演する佐貫浩氏

学習指導要領が変えられ、「道徳」が小学校で来年度(2018年度)から、2019年度からは中学校で教科となることを受けて、都教組江東支部と江東の教育を考える会が7月6日、「どうなる学校・子どもたち」学習会を江東文化センターで開催。法政大学キャリアデザイン学部の前教授、佐貫浩氏が講演し、37人が参加しました。

### 人類の歴史から解き明かす 道徳性の追求

佐貫氏は冒頭、「原点にかえって、教育の条理と道徳性を考えることが必要な時代」と強調し、「道徳性」を社会学と教育学の両面から解き明かしました。

そして現在、「企業が活動しやすい国」をめざす安倍政権の下で経済のグローバル(地球規模)化と新自由主義による規制緩和で格差・貧困、非正規・派遣の拡大、福祉の後退などと共に、「自己責任論」を中心に国家が徳目を押し付ける「人間の尊厳意識の封じ込め」が

進められ、軍事大国に向かう国民意識の形成が狙われていることが強調されました。

### 子どもたちに人類が蓄積してきた知恵を伝えること

「私たちはどう道徳性の教育を進めるのか」というテーマでは、佐貫氏は「子どもたちに人類が蓄積してきた知恵を伝えることができるかどうかを問われている」と強調し、「平和に生きることを学び、お互いに理解し合うことを学ばなければならぬ」というユネスコ学習権宣言(1985年)を紹介しました。



(※スクリーンは合成です)

最後に佐貫氏は「道徳性の追求は、憲法に明記されている人権、公共の福祉などを規範として、主権者国民のための社会正義をいかに実現するか、

どんな政治を行うのかに「眼から鱗」との感想が出た。深く関係している」とアピールし、参加者から

## 映画会

### 「ザ・思いやり」知ッテイマスか?

7月14日、総合区民センターで、江東区社会保障推進協議会主催の映画上映会が、昼夜2回開かれました。

上映されたのは、日本 キュメンタリー映画「ザ・思いやり」(2015年)で、在日米軍への「思いやり予算」の「思いやり予算」の不条理さと矛盾を、様々な視点から鋭く、そしてユーモアたっぷりに日本人に問いかけています。

### 外国人「信じられない」

これらの事実をリラン・バクレー監督がボードに図解してまとめ、ハリウッドやロスアンゼルス街頭で、道行くアメリカ人、フランス人、インド人などにインタビューを試みましたが、いずれも「信じられない」と言い、「優先順位がめちゃくちゃ」、「そんなに思いやんならフオアグラを食わせればいい」などと痛烈にコメント。

また「思いやり予算を被災地の支援へ！」の活動を続ける山口洋子さんは、「思いやり予算」で造られた米軍の贅沢な高級住宅と対比して、いまだに仮設住宅の生活を強いられる石巻の人たちの生の声を紹介。映画は、「思いやり予算」が条約や地位協定にも定められていない不可思議、不条理なものであることを、アメリカ人の監督の目から見て告発するものとなっております。

### 思いやり予算は何に?

上映終了後、主催者から「ザ・思いやり」パート2の製作が開始されることが紹介され、製作費支援の呼びかけがありました。詳細は「ザ・思いやり」事務局(Eメール: zaomiyari@hotmail.co.jp)まで。